

場 所		分 類		被ばく低減対策好事例集			
原子炉建屋内	RB	Y	1、6			① 時間	番号
タービン建屋内	TB					2 距離	
R ZONE	R					3 遮へい	
Y ZONE	⑤ Y					4 線源の除去	
G ZONE	G					5 遠隔、ロボット化	
その他	Z					⑥ 汚染拡大防止	
()						7 その他	
内 容	滞留水移送装置ストレーナ α 対策通水試験における被ばく低減						
作業場所	3号機 廃棄物地下貯蔵建屋(FSTR) 1階						
概 略	滞留水移送装置ストレーナ等の交換作業のグローブボックス化により、被ばく低減を図った。						
評 価 (定性・⑦定量)	効 果		対策前	対策後			
		被ばく線量(mSv)	95.6	54.4			
		人工数(人日)	—	—			
事例詳細	<p>滞留水移送装置に設置されているストレーナ等の交換作業をグローブボックス内にて実施し、作業エリア養生等の作業時間短縮及び作業エリアへの汚染拡大防止により、被ばく低減を図った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ストレーナ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>グローブボックス ゴム長手袋</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">滞留水移送装置 (作業環境：～0.35mSv/h)</p> <p style="text-align: center;">ストレーナ等へのグローブボックス設置</p>						

編集：日立GEニュークリア・エナジー株式会社